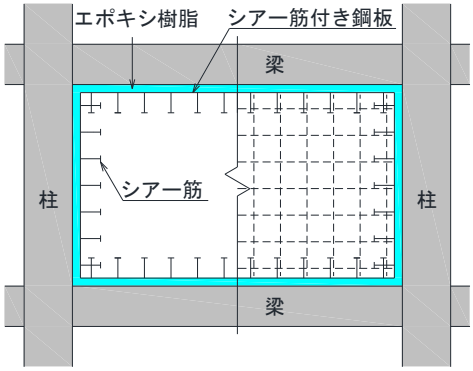
耐震補強工法

ノンアンカーRC 壁接着工法

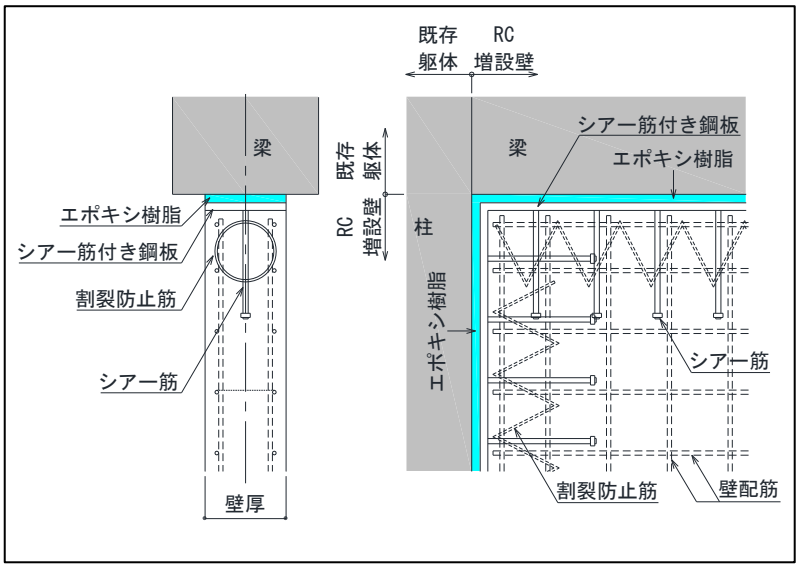
工法の概要

ノンアンカーRC壁接着工法は、既存の鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造建物の柱・梁骨組内に新たに増設壁あるいは増打ち壁をエポキシ樹脂で接着接合して一体化する耐震補強工法です。従来工法では既存躯体にあと施工アンカーを打設し増設壁との一体化を図っていましたが、接着工法では既存躯体（柱・梁）とシアー筋付き鋼板をエポキシ樹脂で接着接合し、シアー筋付き鋼板を介して既存骨組と増設壁の一体化を図っています。

主な特長



① シアー筋付き鋼板を固定
② 躯体と鋼板の間にエポキシ樹脂を注入
③ 壁筋の配筋
④ コンクリート打設



ノンアンカーRC 壁接着工法の概要図

１．居ながら施工

・あと施工アンカーの使用は最小限であるため、工事中の騒音、振動、粉塵の発生が少なく、居ながら施工に適しています。

２．広範囲な適用範囲

・補強対象建物は、鉄筋コンクリート(RC)造または鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造です。
・SRC造建物では、あと施工アンカーの打設が柱・梁の内蔵鉄骨と干渉して困難な場合がありますが、接着工法では内蔵鉄骨との干渉は生じないため施工が容易です。

３．信頼の設計・施工

・本工法は、（一財）日本建築防災協会の技術評価（建防災発第 22157 号，令和 5 年 3 月 24 日）を取得しており、株式会社竹中工務店より実施許諾を受けて施工を行っています。また、設計支援体制も整っています。

施工方法

ノンアンカーRC 壁接着工法は、以下の施工フローで実施します。

1. 既存仕上げ撤去 下地処理
   既存仕上げ材･モルタル等を撤去。躯体を断面補修し養生
2. シアー筋付き鋼板取付
   シアー筋付き鋼板をアンカーで固定（標準間隙幅 10mm）
3. シール、注入パイプ取付
   既存躯体と鋼板との間隙部にパテ状エポキシ樹脂でシールすると共に注入パイプ等を取付
4. エポキシ樹脂注入
   エポキシ樹脂を注入し硬化養生
5. 後処理
   樹脂硬化後、注入状態を確認
   注入パイプ等を撤去
6. 鉄筋･型枠組立
   鉄筋･型枠の組立
7. コンクリート打設
   コンクリートを打設し硬化養生
8. グラウト型枠組立
   上部グラウト部の型枠組立
9. グラウト材充填
   無収縮モルタルの充填
10. 型枠撤去 仕上げ

使用材料

- シール材　：　トーホーダイトS930 （パテ状エポキシ樹脂）
- 注入材　：　トーホーダイトCP300T （液状エポキシ樹脂　低発熱･低臭気タイプ）
  トーホーダイトCP300TH （液状エポキシ樹脂　耐熱タイプ）
- 断面補修材　：　イーグルクリートGL-4H または U-リペアライト（ポリマーセメントモルタル）

施工例

株式会社東邦アーステック
建設事業本部
〒160-0022　東京都新宿区新宿 2 丁目 13-10　武蔵野ビル
TEL 03-5367-2661(代)　FAX 03-5367-2666
http://www.tohoearthtech.co.jp

大 阪　TEL　06-6886-8221(代)
FAX　06-6886-8228

MSA-QS-2108
MSA-ES-1188
MS CM024
ISO 9001, ISO 14001 認証取得
（耐震補強工事，構造補強工事）